



## Banco de Tokyo-Mitsubishi UFJ Brasil S/A

Treasury Department  
Av. Paulista, 1274 – Bela Vista  
São Paulo, SP – 01310-925

## 1. マーケット・レート

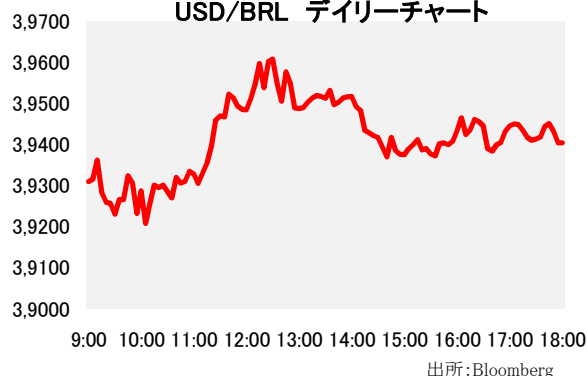
			10月15日	10月16日	10月19日	10月20日	10月21日	Net Chg
為替	USD/BRL	Spot	3,7990	3,9230	3,8860	3,9050	3,9400	+0,0350
	BRL/JPY	Spot	31,29	30,44	30,75	30,70	30,44	-0,26
	EUR/USD	Spot	1,1387	1,1348	1,1326	1,1340	1,1340	u,c,
	USD/JPY	Spot	118,89	119,44	119,52	119,88	119,94	+0,06
金利	Brazil DI	6MTH(p.a.)	14,810	14,867	14,767	14,737	14,823	+0,086
	Future	1Year(p.a.)	15,320	15,454	15,322	15,281	15,339	+0,058
	On-shore	6MTH(p.a.)	2,868	2,613	2,835	2,810	2,831	+0,021
	USD	1Year(p.a.)	3,887	3,665	3,834	3,887	4,067	+0,180
株式	Bovespa指数		47.161	47.236	47.447	47.077	47.026	-51
CDS	CDS Brazil 5y		431,19	436,57	455,09	472,33	476,15	+3,82
商品	CRB指数		198,639	199,447	196,729	197,425	195,587	-1,84

\* これらはインターバンク市場等におけるブラジル市場終了時のインディケーションです。実際のレート提示は弊社担当アカウント・オフィサーまでお問い合わせ下さい。

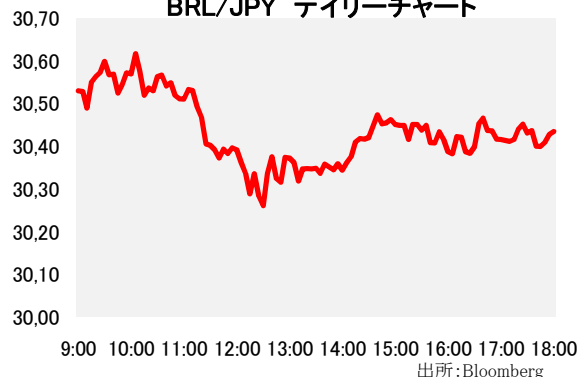
## 2. 主要経済指標

イベント	予想	実績	前回
IBGEインフレ率IPCA-15(前月比)	0.68%	0.66%	0.39%
IBGEインフレ率IPCA-15(前年比)	9.79%	9.77%	9.57%
(米)MBA住宅ローン申請指数	--	11.8%	-27.6%

USD/BRL デイリーチャート



BRL/JPY デイリーチャート



## 3. 要人コメント

バルボーサ伯企画相	歳入の様子を分析してから財政収支の黒字目標を見直す必要があるか考える
-----------	------------------------------------

## 4. トピックス

- 本日のレアルは3.9050で寄り付いた。
- 本日はテクノロジー株が値下げをきっかけに中国株は8週間振りの高値から下げに転じたことを受けてリスク資産の売りが見られた。更に世界の経済成長とインフレが低迷するとの懸念が強まるとコモディティ市場も下落した。レアルは上記を受けて本日の安値で寄り付くも一気に3.94台前半まで下落した。
- 更に国内での政治的不安定が引き続き重しとなったほか、財政収支黒字目標が再び下方修正されるとの報道を受けてレアルは本日の安値となる3.9640まで下値を拡大した。
- 午後にかけては3.93台後半まで買い戻された後、結局3.9400でクローズした。
- 尚、幾度にも亘って下方修正されてきた財政収支黒字目標が再び修正されるとのバルボーサ伯財務相のコメントを受けて、一部の参加者は2015年度の財政収支赤字が500億レアルを超えると予想している。
- コモディティ市場では原油在庫が6カ月振りの大幅な増加を記録したをきっかけに、ニューヨーク原油市場でWTI先物は3日続落した。

当資料は一般的な情報提供のみを目的として作成されたものであり、特定のお客様のニーズ、財務状況又は投資対象に対応することを意図しておりません。また、当資料は、適用法令上許容される範囲内でのみ利用可能であり、当資料の頒布を制約する法令が存在する地域の方によって利用されることを意図しておりません。当資料内のいかなる情報又は意見も、預金、有価証券、デリバティブ取引その他の金融商品の売買、投資、保有などを勧誘又は推奨するものではありません。資料は信頼できるとされる情報に基づいて作成されていますが、当行はその正確性、適時性、適切性又は完全性を表明又は保証するものではなく、当行、その子会社又は関連会社は、お客様による当資料の利用等に関して生じうるいかなる損害についても責任を負いません。ご利用に関しては、すべて お客様御自身でご判断下さいますよう、宜しくお願い申し上げます。また、過去の結果が必ずしも将来の結果を暗示するものではありません。当資料の内容は予告なしに変更することがあり、また、当行、その子会社又は関連会社は、当資料を更新する義務を負っておりません。また、当資料は 著作物であり、著作権法により保護されています。当行の書面による許可なく複製又は第三者、個人顧客もしくは一般投資家への配布をすることはできません。